

小平市議会 市民と議会の意見交換会(議会報告会)

※ 議会は合議体であり、内容によっては議決が必要なものもあり、要望や個別的課題についての回答は決定事項ではありません。

種類 [質問、意見・要望]

令和5年7月16日開催

No.	種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
				取扱い (9/19時点)	取扱い (12/11 時点)	
＜新しい議会に期待することは＞						
1	意見・要望	大学教授の手下にならないでほしい。大学教授は政策を議会に持ってきます。彼らは大学関係・教育関係にかかる政策は、自分たちに都合の良い政策を持ってきます。よって議員研修会などでも、学識経験者だからと盲信せず、政策に関しての見識を深めていただきたいと思います。	大学教授等が提出された請願・陳情だからと、議会が盲信して審議に臨むことはごさいませんのでご安心ください。	D	D	
2	意見・要望	介護年齢になったことで苦しんだことがある。市役所にも議員にも相談したが、現状は解決していない。障がいから福祉まで、議員は私たち当事者とともに勉強し、解決に向けて進んでほしいと思います。案件としては、要介護度の要支援1・2と、要介護1・2・3では、通院時のガイドヘルパーにかかる取扱いが変わる。障がい者支援・地域支援から介護支援・福祉支援となり、通院時にガイドヘルパーがいれば通院できていたものが、ホームヘルパー・訪問介護が必要ということで、援助を手配するのが困難になった。ガイドヘルパーの資格を持つ方の人数も少ないのではないのでしょうか。その点、東村山市は個別具体に対応してくれると聞いているが、小平市は制度が違うからとバサッと切られた。	私たち議員もよりよい福祉政策を提供できるように学ぶとともに、政策提言等を通じて解決していきたいと思います。	D	D	
3	意見・要望	本会議のライブ中継が入り、文字情報が入ったことで、画面を見ていれば耳が聞こえない人でも状況が分かるようになった。障がいのある方にも、寄り添いが見られた。今後の期待としては、全員協議会や委員会でもライブ中継や磁気ループを設置いただければと思います。	議会運営委員会のワーキングチームのほうに共有いたしまして、委員会のライブ中継・磁気ループの設置についてまずは調査研究の俎上にあげていきます。	C	C	

No.	種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
				取扱い (9/19時点)	取扱い (12/11 時点)	
4	意見・要望	先ほどの本会議の報告などを聞いても、分かりにくいものがあった。分かりやすく開かれた議会に向けて、これからも工夫していただければと思いますし、市議会だよりなどもこれからももっと良くしていただきたいと思います。	議会報告会の説明などは、正確に伝えようとする、どうしても硬い言葉遣いになるところがあります。しかしこれは重要なことですので、今後の研究課題とさせていただきます。市議会だよりのリニューアルなどは今後広聴広報特別委員会で調査研究してまいります。	C	C	
5	意見・要望	執行部の皆さんはマイクの使い方が下手で原稿読みをしているだけ。言葉がもつ意味を考えて答弁してほしい。小林洋子市長は当選以降、質問に対してゆっくり答弁してくれている。理事者側も議員側も今後ゆっくり感情込めて話すようお願い致します。	言葉が持つ意味を踏まえながら、ゆっくり、分かりやすく話すように努めます。	B	B	
6	意見・要望	今回のような議会報告会の場でも参加者の年齢層が高く、子どもたちの意見が反映されにくいという懸念がある。調布市や中野区等では学校や企業を巻き込んで地域課題を考えるような取組がある。ぜひ子どもたちも地域課題に関心をもてるような仕組みや、議会と子どもたちを近づけるような取組があってもいいのではないかと。	広聴広報特別委員会でも大学に出向いて議会報告会を実施してはどうかという議論があったが、コロナ禍になって検討が止まった経緯がありました。今後、改めて委員会で検討していくことになると考えています。また、子ども議会は市制施行の記念で過去に実施したことがあります。数年前から企画しないと難しい点もあります。	C	C	
7	意見・要望	世田谷区・墨田区でも子どもたちと幅広い市民とコミュニケーションをとるような仕組みがあるように聞いている。手法としてナッジを取り入れて子どもたちを巻き込む自治体もあると聞く。市内に大学が多い利点も生かして大学を起点に、小・中学校を繋いでいくような仕組みができるといいのではないかと。	広聴広報特別委員会ではテーマとして「大学連携」が現在挙がっているので今後検討していきたいです。	C	C	
8	質問	小・中学校の連携やその先の高校・大学と縦に繋がって子どもを支援していくことが重要。子どもたちに小平市に住み続けたいと思ってもらうために議会として何ができると考えているか。	昨年度まで厚生委員会では、子どもたちにいざ何か起きた時に、当事者である子どもを中心に、各支援者が繋がるような提案をしました。	B	B	
9	意見・要望	財源を増やす努力をしているのか。ふるさと納税についても何か検討をしているのか。より市内企業との連携を積極的にとっていくことが必要ではないか。	今年度も予算としてふるさと納税の拡充のための予算が付き、幅広い事業者からの提案を公募するといった計画があります。都内の自治体での共通の課題でもあるが、他市と差別化したメニュー開発といった点で課題はあります。	A	A	

No.	種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
				取扱い (9/19時点)	取扱い (12/11 時点)	
10	意見・要望	税金の使いみちについて。子どもにかかるお金が少ないのではないかと。市長とのタウンミーティングでも中央エリア・チャットGPT・災害時のドローン活用についての話があったが、市民感覚とかけ離れた金額になっていないか、財政的に厳しいため難しいと言われた事業・施策とのバランスが取れているのかという懸念がある。	災害時のドローン活用については災害時の包括協定なので支出があるということではありません。	D	D	
11	意見・要望	市民の相談・意見についても、積極的に言ってくる市民の要望から手を付けるように思える。相談者側も粘って、労力をかけないといけないと感じる。複数人・声の大きい人の意見でないと通りにくいといった現状があるのではないかと。		E	E	
12	質問	男女共同参画センターが、新たに出来る小川駅西口のビル(公共床)に入ることによって、部屋が無い状況になってしまう点に不安を感じる。公表されている図面を見ると、図書館中心になっていて困ったことがある人が静かに考えをまとめることが出来ないような場所になるのではないかと。現状の男女共同参画センターでは、一定時間いることが出来るため、新たに移動したらサービスが低下するのではないかと。利用状況調査でも「困っている」ということは書けないため数値では出にくいですが、本来困っている人は多くいるのではないかと。部屋をつくることは無理でも、せめて目隠しになるような空間をつくってほしい。	ご意見として承ります。公共施設の在り方については、昨年度までの調査特別委員会でも扱ってきました。なお、市への意見提出という観点では、請願・陳情・議員提出議案等という手段もあります。	D	D	
13	質問	なかまちテラスについての反省を生かし、中央エリアの再整備についても行政丸投げではなく、議会でチェックしてほしい。		D	D	
14	質問	中央エリアへのアクセスの問題について。コミュニティバス・タクシーも見ることが無いという人もいます。市としてのまちづくりのビジョンが見えない中、議員は小平市のすみずみまで考えたまちづくりを提案してほしい。中央の地域だけに税金をかけるのではなく、小平市全体の視点で考えてほしい。		D	D	

No.	種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
				取扱い (9/19時点)	取扱い (12/11 時点)	
15	意見・要望	過去に市内で教員をして今は引退している。小・中学校体育館にエアコンが設置されたことは評価する。しかし、8小に関しては学級数が増加しており、校舎も増え、校庭が狭くなっている。タブレットを載せるには机が小さい。	公共施設マネジメント調査特別委員会で議論しています。市は縮充の発想で進めています。公共施設マネジメントは小平市だけでなく全国的に取り組んでいる課題です。	D	D	
16	意見・要望	子どもが減るからと言って、学校を減らす計画はいいかなものか。通学時間も長くなる。見直すべきではないのか。議会でこのような議論はしていないのか。	公共施設マネジメント調査特別委員会で議論しています。市は縮充の発想で進めています。公共施設マネジメントは小平市だけでなく全国的に取り組んでいる課題です。	D	D	
17	意見・要望	子どもファーストで考えて欲しい。学校の統廃合のプロセスを示して欲しい。	教育委員会に提言していきます。	D	D	
18	意見・要望	市議会を見ている。会派を超えて是々非々で議論するべき。テーマを決めて意見交換をして欲しい。例えば公共施設マネジメント等。	ご意見として受けとめました。具体的にテーマを決めることについては、広聴広報特別委員会に伝えます。	D	D	
19	意見・要望	市はいつも財源がないから事業が出来ないと言っている。そうであれば真面目に市の収入を増やすことを考えて欲しい。公共施設の受益者負担は反対だし、これ以上市税が高くなるのは困る。	総務委員会で自主財源の確保について政策提言を行いました。引き続き、様々な場面で提言していきます。	B	B	
20	意見・要望	靖国神社が好きである。	ご意見として受けとめました。	E	E	
21	意見・要望	PFASの問題があり浄水器補助に興味がある。	PFASについては市議会定例会の一般質問で取り上げて質問している議員はいます。	D	D	
22	意見・要望	軍事費の予算は増やして欲しくない。	ご意見として受けとめました。	D	D	
23	意見・要望	高齢者のくつろげる場所が欲しい。	ご意見として受けとめました。	D	D	

No.	種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
				取扱い (9/19時点)	取扱い (12/11 時点)	
24	意見・要望	やりっぱなしの政治はやめてほしい、確認や進捗具合を見ていくのは必要である。経過報告も必要。		D	D	
25	意見・要望	子育て環境、市議会議員選挙、市が解決しなくてはならない課題、問題点を中心にお願ひしたい。		D	D	
26	意見・要望	年間3回の意見交換会をやっていただきたい	広聴広報特別委員会に申し伝えます。	D	D	
27	質問	新人議員懇談会には真面目に回答をしていただきました。新しい議会はどのように市民の意見を吸い上げるのか。	今回の「市民と議会の意見交換会」をはじめ、後援会の方々からの意見や要望もお聞きしています。また会派にもよるが各種団体との意見交換や議会報告会等でご意見をお伺ひしています。	D	D	
28	質問	新しい議会の課題について各議員から答えてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの分かりやすさ ・公共施設マネジメント ・子育て、学校給食無償化、オーガニック給食 ・子育て支援、高齢化、財源の確保 ・国や東京都との連携、デマンド交通 ・介護の課題、老々介護が増えている、ヤングケアラーの問題、子どもの権利条例 ・公共施設の老朽化及び合築の課題 ・単身高齢者の住宅の確保 	E	E	

No.	種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
				取扱い (9/19時点)	取扱い (12/11 時点)	
＜市政全般について＞						
29	意見・要望	大学連携をやめてほしい。大学関係者からの性暴力がある。私はその被害者です。小平市は健康福祉部が市内大学と連携をしているが、命を助ける部署なのだから、命助けのみをしてほしい。私は市内の7つの大学学長に内容証明を送り訴えているが、大学の先生の著作も紹介するような大学連携はやめていただきたい。国立精神・神経医療研究センターがある小平市には精神障がい者がたくさん住んでいるにも関わらず、小平市は支援にうとい。保健師とともに精神疾患に特化した支援(団体)がほしいです。居宅支援がほしい。勉学支援・居宅支援をうけることができれば、私ははみがきもできるし、お風呂にも入れるし、ウォーキングもできるようになる。	参考意見とさせていただきます。	D	D	
30	意見・要望	小川駅西口・小平駅北口の再開発に伴う駅前広場については、安全な歩行環境・移動を留意した道路計画にしてほしい。	引き続き、警察・行政に地域・利用者の皆さんの声を届けてまいります。	D	D	
31	意見・要望	公共施設マネジメント・公共交通にかかる要望として、津田塾大学前の府中街道は道が狭く、ガイドと一緒に通れない。電柱が邪魔。新府中街道は無電柱化してほしい。鎌倉公園横の3・3・3号線も無電柱化してほしい。道が狭いから点字ブロックを設置できないといわれた。津田塾大学前は久右衛門橋まで道が広がったにもかかわらず、正門前には音響信号をつけられないと警察には5年前から言われている。正門にもつけるべきだ。必要な学生もいるだろうに、警察は久右衛門橋のほうに音響信号があるから正門にはつけないといわれた。尚、久右衛門橋の音響信号のスイッチは、過去に移動してもらえると報告をうけたが、いまだに実現していない。	引き続き、警察・行政に地域・利用者の皆さんの声を届けてまいります。	D	D	

No.	種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
				取扱い (9/19時点)	取扱い (12/11 時点)	
32	意見・要望	小川駅西口再開発ビルの4・5階には、だれでもトイレの設置を希望したが反映されているのだろうか。通路は、90センチ以上の幅が必要だ。だれでもトイレは各階に必要なだし、その際は、ベビーベッドだけでなく、大人用のベットも必要だ。補装具の交換などが、必要な方がいることが分かってほしい。	ご意見として承らせていただきます。	D	D	
33	意見・要望	孫が学校に行くようになってから、私も不登校・障がい・様々関わるが増えた。子が小学校にあがり、たいよう福祉センターに相談に行ったが、専門家がいない。障がいと認定された子への支援はあるが、ポーターの子への支援は乏しい。病名がないと受け付けてもらえない。幼稚園、保育園から学校へ発達障がいがある旨を伝えても、個別に対応してくれるかどうかは分からないようだ。たらい回しの状況は昔と変わっていない。不登校になったのはコロナやいじめや勉強や先生の話し方など様々で、困ったときに相談員のスクールカウンセラーがいるが、解決はしていない。私が関わる子も不登校になってしまった。もう少し子どもたちに・みんなにすみやすい街になってほしいと思います。	まだまだ支援体制が充分ではないところが多いので、行政関係者に要望をあげていきたいです。	D	D	
34	意見・要望	視覚障がい者・目が見えない市民の安全対策を進めてほしい。一橋学園駅の南側は信号もない。エスコートゾーンもほしい。	議会でたびたび要望しています。引き続き、行政・警察と連携しながら、要望してまいります。	D	D	
35	意見・要望	医療について、健診の連絡があるが、小平市医師会に委託しているため、医師会に入っていない先生にはお願いできないのはおかしいのではないか。かかりつけ医をもつようにという呼びかけがされても、かかりつけ医によって健診・予防接種が受けられないのはおかしいのではないか。	医師会に所属するかしなないかは、医師個人での判断になります。一方で山梨県では、オンライン診療について、医師会の所属如何を問わずに、希望者が手を挙げて実施をするといった事例があると聞いています。	D	D	
36	意見・要望	健康センターの土日診察に「歯科」が無い。急に歯が痛くなった時に対応してもらえないのが心配。	休日診療について「歯科」でも、様々な医院やクリニックが交代制で実施しています。	E	E	
37	質問	救急車を呼んでも、その後病院の受入れが決まるまで時間を要したという経験があった。また市内の救急車の数は足りているのか。	消防署に1台ずつは救急車が配備されています。救急車の手配は管理センターの役割を持つところで一括して実施・マネジメントを行っています。	E	E	

No.	種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
				取扱い (9/19時点)	取扱い (12/11 時点)	
38	意見・要望	植物の管理について。剪定が自分たちで管理ができなくなってきてしまって困っている。このように困ったときに、誰に相談していいかわからない。議会に依頼するのはハードルが高い。	議会としてはこのような議会報告会の他に、HPからもご意見をいただけるような仕組みになっています。	D	D	
39	意見・要望	植物の剪定等は子どもに協力してもらってはどうか。子どもたちがボランティアとして個人の庭の剪定等をお手伝いしてもらえそうな仕組みを学校と連携してつくってもらえれば、教育としての効果もあるのではないか。 コロナ禍の時に医療従事者の人に何かしたいと子ども発信で提案があり、実際に医療従事者の方々へ手紙を書き、大変喜んでもらえて、子どもたちの学びにもなったという事例も他市である。		D	D	
40	意見・要望	空き家が多くなってきていて、空き家になった物件の樹木の管理が出来なくなっている。	市道であれば早めに対応が出来た事例もあります。私有地については時間がかかったり難しい場合もありますが、市からの相談がいき、話し合い等もたれることはあります。私有地から外に出ている枝は今回の民法改正で切れるようにはなりましたが、費用負担の課題は今後出てくる可能性があります。	D	D	
41	意見・要望	空き家問題にしても、困っている空き家所有の当事者の相談会にとどまっていた、当事者のみの問題になってしまっているように見える。 調布市では個人の問題ではなく、地域課題として空き家活用の方法を学生が考えて、情報発信やワークショップを行っているため、そのような取組みをしてみてもどうか。		D	D	
42	意見・要望	小学校の教室が狭い。子どものロッカーが小さくて荷物が入らない。ランドセルが重い。8小は議会で見察に行って欲しい。	ご意見として受けとめました。	D	D	
43	意見・要望	有機フッ素化合物の汚染源がどこなのかを多摩全体で調査して欲しい。	2021年に小平市議会全会一致で、PFAS汚染の実態調査を求める意見書を東京都に提出しました。	E	E	

No.	種類	内 容	議会報告会での回答	取扱い・進捗		備 考
				取扱い (9/19時点)	取扱い (12/11 時点)	
44	意見・要望	PFASの問題についてだが、玉川上水は汚染されていないが、国分寺だけ妙に高いのは何故か。どこが汚染源なのかきちんと把握するべきではないか。	汚染源は複数あることが考えられ、調べることは必要です。	E	E	
45	意見・要望	小平に50年住んでいる、4年前に地域活動をやりたいと思い「道路の植栽や草むしり」を進めているが、自治会が無いので市役所の聞いても各部署に引き回された。まちづくり小平で聞いてパンフレットをいただき、動いて自治会を作りたいが難しい。市役所の役割は市民の声を吸い上げてほしい。	自治会の結成は地域振興部、市民協働・男女参画推進課で承っております。ご相談をお願いします。	A	A	
46	意見・要望	市民との意見交換は西東京市には無い、小平市議会は良い企画をしている、問題や課題がある場合はレベル分けの仕分けをして解決するのが本来の議会ではないか。事業仕分けが必要ではないか。	西東京市では行っていない「市民と議会の意見交換会」をお褒めいただきありがとうございます。また事業仕分けについては勉強してまいります。	D	D	
47	意見・要望	やる気のない部長にやる気を出させるにはどうしたら良いか、専門職の方はすぐに移動してしまう。	日常的に市の担当部局と話し合っています。	D	D	
48	意見・要望	市のホームページは分かりにくい。	市民の目線によって変わるものですが、ご意見として担当課に申し伝えます。	A	A	
49	質問	防犯協会の会議に出席してきましたが、防犯カメラの話がなぜ進まないのか。	防犯カメラ設置には、自治会や地域の皆様全員の承諾が必要となるため難しい課題です。また推奨している人は見守りカメラと言いますが、反対している方は監視カメラと言います。	D	D	
50	質問	市の大手企業が市外に出ていかないような動きはしているのか。	企業が移転先を選定する際の条件を理解し、それらの条件を満たすような環境を整備することが重要と考えます。検討いたします。	D	D	
51	意見・要望	女性市長なので男女共同参画についてしっかりとお願いしたい。	小平市も男女共同参画社会実現のため、性別を問わず地域や家庭へ参画しやすい環境作りが必要です。性別による役割分担意識の解消や、長時間労働の抑制などの働き方の見直しは、重要なことです。女性の社会進出や男女間での役割分担については、「男性は仕事、女性は家庭」など従来持たれていた認識を変えてもらうための取組も必要です。	D	D	